

梅林は広さ約60アール。80種600本の梅が植栽されています。会場は多くの行楽客が繰り出し、写真コンクールや写真コンテスト、俳句大会などが行われました。また、中学生ボランティアにより無料の甘酒が振る舞われました。

2/18-19 主役の梅は二分咲き 第19回おおひと梅まつり
冬の冷たい空気に包まれたこの日、大仁神社で早春の恒例行事であるおおひと梅まつり(市観光協会主催)が行われました。



例年より3週間ほど遅い梅の開花状況



署名した協定書を披露する望月市長(左)

3/1 取り締まりを強化 被害拡大防止に向けた協定締結
市と大仁警察署は、悪質商法の被害拡大防止や早期摘発を目的とした『消費生活侵害事犯の被害拡大防止に向けた連携に関する協定』を締結しました。伊豆市と合同の締結式は大仁警察署で行われ、望月市長と菊地伊豆市長、今泉署長が出席。協定書に署名をしました。

この協定により、今後は消費生活侵害事犯(オレオレ詐欺や悪質商法など)について、情報の相互提供や共有をし、市と警察が協力して被害防止を図ります。同署の今泉署長は「協定により連携を深め、市民が悪質業者のわなにかからないよう取り締まりを強化したい」と述べました。

3/3 露店や催しを楽しむ 第3回城山さくら祭り
今年で3回目となる城山さくら祭り(大仁ライオンズクラブ主催)が、狩野川河川敷の中島運動公園で行われました。サクラの開花状況は1割程度でしたが、露店や各種催しを楽しみに、昨年並みの約500人が来場しました。

祭りは、同クラブが地域の活性化を目的に始めたもの。堤防上には、同クラブや旧大仁町が植えた河津桜並木があり、城山の麓に咲くことから『城山桜』と名付けられています。

初めて訪れたという内田さん親子(寺家)は「サクラは残念だけど、美味しい露店の食べ物や踊りなどの催しが楽しかった」と話していました。



城山を背に、ソーラン踊りを熱演する『樹の子』の会



循環型社会の構築を討論するパネリスト

3/4 循環型社会を考える 第2回社会教育シンポジウム
市社会教育委員会主管による社会教育シンポジウム『循環型社会を考える』をあやめ会館で開催しました。放置竹林の問題とその活用策について室伏一伸さん(市教育委員・NPO法人高原倶楽部)が講演を行いました。また、市内で環境問題に取り組んでいる5人のパネリストにより『循環型社会を私たちがどう構築していくべきか』を討論。資源の循環と自然環境の負荷軽減により持続可能な発展を実現する方法を、110人の来場者とともに考えました。

その他会場では、社会教育委員活動や『農土香』プロジェクトを紹介するパネル展示も行われました。



葦山反射炉を視察

「世界遺産登録に向けてがんばろう！」と会場総決起

パネルディスカッション

葦山反射炉を世界遺産に 2/12 世界遺産シンポジウム



世界遺産コンサルタント
バリー・キャンブル氏

日本にとって重要な意義をもつ葦山反射炉が、九州・山口の近代化産業遺産群に加入することで世界的な意義をもつものになります。葦山反射炉は世界唯一の、素晴らしい遺産です。



前イングリッシュ・ヘリテージ総裁
ニール・コンソノ卿

工業化、産業化は、人類の歴史を大きく変えました。力強い将来の展望を与えてくれる近代化産業遺産という存在は、世界遺産にふさわしいものであると思っています。



九州・山口の近代化産業遺産群協議会
コーディネーター 加藤康子氏

アジア初の産業革命国である日本の急速な産業化と、それを支えた人々の記憶を後世に伝えたい。世界遺産は壮大なプロジェクトですが、皆さんの協力と熱意で必ず実現できます。



国際産業遺産保存委員会事務局長
スチュアート・スミス氏

葦山反射炉は、世界の産業建造物の中で最も古いものの一つです。世界中の溶鉱炉と比べても、葦山反射炉のように綺麗な状態で残っている炉は見たことがありません。



伊豆の国市
望月良和市長

葦山反射炉が世界遺産登録されれば、江川垣庵公が海防に挑んだ日本の近代化の歴史を未来に継承していくことができます。世界遺産登録を、地域づくりや経済活性化にもつなげていきたい。地元の皆さんも応援してください。

今後は、葦山反射炉建造当時の絵図に基づいて、時代に配慮した景観整備をしていく努力が必要であると思います。

来月号から、葦山反射炉の世界遺産登録への道のりや、九州・山口の近代化産業遺産群を紹介する『世界遺産なう』を連載開始します。